

## 保育計画成果報告書

法人名等	学校法人倉橋学園
施設名	イーエーエスはんだやま保育園
報告者（役職）	青島 佐希子（園長）
住所・連絡先	静岡県浜松市東区半田山二丁目 24 番 3 号
	☎ 053-432-7076
	E-mail eashandayamahoikuen@alegriadesaber.jp

### ○タイトル（保育計画）

キラキラ未来！ ふくらめ、こどもの想像力！！

### ○主な助成備品

ハイハイランド 楽器セット 紙芝居・絵本セット ソフトブロック つみき カプラ  
ガーデンハウス ままごとセット

## 1. 保育計画策定の目的

イーエーエスはんだやま保育園は、ブラジル人学校であるイーエーエス浜松の一角に設置されている認可保育所です。開園間もないという事で玩具も十分に用意できず、同じ遊びばかりが続いてしまう事が課題でした。キラリと輝く未来ある子どもたちが柔軟な発想力や想像力を育てるにはどうしたらいいのか、保育士に今、子どもたちにとってどんな遊びが不足しているのか考えてもらいクラスごとにはしい玩具を提案してもらいました。

## 2. 具体的な実施内容

### 【ハイハイランド】

のぼる、おりる、くぐるなど活動の中で体を動かしました。

### 【楽器セット】

音楽遊びの中で使用しました。一つ一つの楽器の説明をし、どのような音が鳴るか聞いた後、実際に好きな楽器を手に取り鳴らしてみました。みんなの好きな音楽を流し、音楽に合わせてリズムをとりました。

### 【紙芝居・絵本セット】

日々の保育の中の朝の会や帰りの会で本を使用し、誕生日会などの特別な行事に紙芝居を使用し、たくさんのお話に触れる事ができました。

#### 【ソフトブロック カプラ つみき】

想像して遊ぶ面白さが育つように保育者も一緒に遊び、様々な積み方を実践し見立てて遊ぶようにしました。また、一人で作るだけでなくグループで制作をおこなう事を通してみんなで表現することの楽しさを味わえるようにしました。

#### 【ガーデンハウス ままごとセット】

危険を回避するために子どもたちと一緒に約束事を決め使用することにしました（ハウス内は4人まで 順番で遊ぶ 食べ物やスプーンは口に入れないなど）。

### 3. その成果と評価

同じおもちゃでもそれぞれの年齢によっていろいろと遊びを工夫しています。子どもたちは期待以上の遊び方を開発しており、おもしろかったです。子どもたちの想像力に感心させられました。また、一緒に工夫しながら使っている姿を見て社会性もはぐくまれていることを実感しました。

#### 【ハイハイランド】

天候に関係なく体を動かす事ができた点、月齢が異なってもそれぞれが使用できた点が良かったです。トンネルをくぐる事でハイハイができるようになりました。お互いのぞき合う事で子どもと保育者のコミュニケーションを取る事ができました。園庭で遊んでいる大きい子たちをハイハイランドの上から見ている子どもたちの目はキラキラ光っていました。

#### 【楽器セット】

初めて手にする楽器も多く、子どもたちは興味津々で楽しむ事ができました。見た目もおもしろく、収納するのがまた、楽しかったようです。

#### 【紙芝居・絵本セット】

話の内容を理解し、興味をもって何度も繰り返し話を聞く姿が見られました。保育士が子どもたちに話をするときにも絵本のときと同様に、保育士の方

に顔を向けたり集中して話が聞けたりと普段の保育の中でも子どもたちに変化が見られました。また、話の中から子どもたちが特に興味を持った「3びきのやぎのがらがらどん」を使い、きらり発表会（生活発表会）で劇を発表しました。何度も読み聞かせをすることでイメージを膨らませ、劇で使う大道具や衣装の作成へとつなげる事ができました。



#### 【ソフトブロック カプラ つみき】

それぞれの子どもたちが個々に作成したものをつなげて遊ぶ子どもが出てきて、協力してまちづくりを始めました。一人で作るよりもみんなで作れば大きなものを作る事ができることも知ったようです。カプラや積み木を通して協同性、達成感を味わう事ができました。

#### 【ガーデンハウス ままごとセット】

自分たちで約束を決めることで守ることの大切さを知ったようです。友達との意見の食い違いからトラブルになることもありましたが、自分たちで話し合い解決したり保育者に助けを求める事ができるようになったりと子どもたちの成長を感じる事ができました。子どもたちは想像力を膨らませ、役になりきって遊ぶ姿がみられました。

#### 4. 今後の課題と展望

おもちゃが充実したことにより子どもたち、保育士の笑顔も増えました。そして、子どもたちが集中して遊びに取り組む姿を見て環境づくりの大切さを学びました。保育の中で何気なく使っている玩具も子どもたちにとってどのような影響を与えるのか考える事ができるようになったと思います。本来の決められた使い方だけでなく、子どもたちが自分たちで考えて遊ぶ姿をみて柔軟な発想力や、想像力と創造力が育っていると感じています。

幼児期にとことん遊びこむことが学びにつながると考えます。遊びの中で気づいたり、試したり、粘り強く考えたり、行動したりと子どもたちは自分で育つ力を持っています。わたしたちは何かを教えるのではなく、子どもたちの気持ちや考えを受け止めてあげながら危険のない範囲内で見守り、子どもたちを支える存在でありたいと思います。

以上